

世界に羽ばたけ！ 米山学友⑧

アジアの歌姫を目指して

人生を変えた舞台との出会い

ソウルの大学で声楽を勉強していた Jisong^{ジソン}さんは、大学4年生だった2004年の秋、日本の藤原歌劇団のソウル公演『椿姫』の舞台を見に行き、大きな衝撃を受けました。これまで見たどのオペラとも違う圧倒的な華やかさ、ヨーロッパの真似ではない、日本独自の文化を感じさせる新しい世界がそこにはありました。

「藤原歌劇団に入りたい」。日増しに強くなる思いを実現するため、卒業後は、日本の大学院でオペラを勉強することを決めました。

もともと日本の文化に興味があり、いつかは日本に行きたいと考えていました。心細さはありませんでしたが、周囲の人から励まされ、姉からも「あなたは日本に行くべき」と背中を押されて、2005年9月に来日を果たしました。



4月18日、音楽のまち・かわさきアジア交流音楽祭に出演し、デビュー曲を熱唱

大学以外の日本社会を体験

半年間、日本語学校で勉強し、2006年4月に昭和音楽大学大学院に入学。言葉の苦労はありましたが、オペラ歌手として舞台に立つための専門的な勉強ができる大学院の授業は、新鮮で楽しいものでした。いずれはイタリアに留学し、実績を重ねて日本に戻り、藤原歌劇団で主演を務められる歌手になる、それが夢でした。

秋には大学からの推薦を得て、米山記念奨学金に申し込み、「生まれて初めて経験した」という厳しい選考試験を経て見事に合格。翌年4月から、世話クラブであ

る第2780地区(神奈川県)の大和ロータリークラブ(RC)との交流が始まりました。

例会に行くたびに、多くの会員から健康や日々の生活を気遣う声をかけてもらい、カウンセラーの佐々木和夫氏からは「日本のお父さんだと思ってください」と、たびたび自宅にも招かれました。Jisongさんは「ロータリーとの交流を通じて、大学以外の日本の社会を初めて知ることができた」と言います。

その年、2007年6月には、女子サッカー北京五輪アジア最終予選の日本対韓国戦で、韓国国歌を独唱する、という大役に抜擢されました。国立競技場の大観衆を前に堂々と歌い上げ、会場からは万雷の拍手を受けました。

「歌を喜んでもらえるのはうれしい」と、韓国からの国際ロータリー会長代理

を迎えた、第2780地区の地区大会でも韓国国歌を独唱。年度途中、大学が神奈川県厚木市から川崎市(第2590地区)に移転したことで新たな関係を築いた、第2590地区のインターシティーミーティングでも歌を披露するなど、ロータリーの地区やクラブからの要請も喜んで引き受けました。

学内公募で選ばれ、メジャーデビュー

そんな Jisong さんに人生の一大転機が訪れました。

昭和音楽大学では、初の産学協同プロジェクトとして、大手レコード会社 V A P と連携して、学生を一人、CDデビューさせることになり、学内公募の結果、その幸運



よねやまだより

オペラ歌手を目指して韓国から日本に留学した徐知善^{ソジソン}さんは、大学と大手レコード会社との産学協同プロジェクトで選ばれ、今年1月21日、^{ソジソン}の名でCDメジャーデビューを果たしました。これまで学んできたクラシックと、新たな挑戦となるポップスとを融合させ、一人でも多くの人の心に届く歌を歌いたい——。志をもって羽ばたき始めた彼女を、周囲のロータリアンは温かく見守り、応援しています。

な一人に Jisong さんが選ばれたのです。

これまで目指してきたオペラ歌手になる夢を離れ、新たな道に挑戦することは大きな勇気のいることでしたが、「人生で2度とないこのチャンスに挑戦したい」との気持ちが勝りました。

一からポップスの歌唱法を訓練し、半年以上の準備期間を経て、今年1月21日、ついにオリジナル曲『二つの宇宙』でデビュー。曲の冒頭からいきなり始まる高音部は、クラシックで鍛えた Jisong さんならではの聞かせどころで、「クラシックとポップスを融合させるといふ、今回のプロジェクトのコンセプトにぴったりの曲です」と、Jisong さんも愛着を感じています。

デビューとともに、大学の所在地である新百合ヶ丘(神奈川県川崎市)の「しんゆり・芸術のまちづくり」イメージアーティストに認定され、クラシカル・ポップス歌手としての一步を踏み出しました。

心を癒やすことのできる歌手に

CD発売を前に、昭和音楽大学のホールで1月15日に開かれた Jisong さんのデビュー・コンベンションには、およそ200人の関係者や報道陣が集まりました。その中には、カウンセラーの佐々木氏と、第2590地区米山記念奨学委員長の鈴木憲治氏の姿もあり、大和RCからも祝電が届きました。

「日本から世界に羽ばたく歌手になってほしい」と佐々

プロフィール

Jisong さん(本名:徐知善^{ソジソン})

(2007-08年/大和RC)韓国ソウル市出身。2008年3月、昭和音楽大学大学院オペラ専攻修了。在学中から高い評価を受け、大学とレコード会社との産学協同プロジェクトにより今年1月『二つの宇宙』でCDデビュー。
公式ホームページ: <http://www.vap.co.jp/jisong/>



木氏がエールを送れば、鈴木氏も「Jisong は、強い意志をもった女性。大切な米山の学友ですから、一生懸命応援したい」と、心からの期待を寄せています。

「一人でも多くの人に私の声を届けたい。そして、疲れた人の心を癒やすことのできる歌手になることができれば……。それが、今の私の夢です」Jisong さんは、その夢の実現に向け、挑戦を続けています。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見は、(財)ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

TEL: 03-3434-8681 FAX: 03-3578-8281

Eメール: mail@rotary-yoneyama.or.jp

活躍する学友をDVDで紹介 — ぜひ例会で上映ください —

米山記念奨学会では、7月31日に新しいDVDを発行します。母国で、そして日本で活躍する米山学友の姿を、映像とともに紹介しています。今回登場するのは、中国学友会(本誌横組みP.18参照)の初代会長となった弁護士^{ソジソン}の姫軍さん、女性として初めて台湾の故宮博物院院長を務めた林曼麗^{リンマンレイ}さん、モンゴル初の3年制高校を設立したジャンチブ・ガルバドラッハさんなど、顕著な活躍を続ける5人の学友です。昨年発行の事業紹介DVD『すばらしい贈り物』と合わせて、事業の意義や成果を実感できる米山奨学会DVDシリーズを、ぜひクラブの例会などで上映ください。ご希望のクラブには無料でお送りしますので、米山記念奨学会事務局までお申し込みください。



活躍する米山学友たちを撮影